

# 家庭菜園相談室

今月の  
テーマ

## 「乾燥は大敵！水やりが不可欠～サトイモ～」

サトイモは、ねっとりとした食感の独特な味わいで、芋煮をはじめとした和食の主役になる野菜です。栽培期間はやや長めですが、初心者の方でも挑戦しやすい野菜です。サトイモには、親イモ、子イモ、親子両方食べる種類、芋柄（ズイキ）を食べる種類があります。



図 1 作型目安

	品 種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
サトイモ	石川早生 土垂れ	▲	▲	◆	◆	◆	●	■	■

▲ 植え付け    ● わき芽かき    ◆ 追肥・土寄せ    ● マルチ    ■ 収穫

### 栽培のポイント

- ・種イモは先端から芽が出ているもの(芽出しイモ)が良いです。
- ・乾燥が続くと収穫量が減るので、夏の乾燥時期に水やりを欠かさないようにしましょう。
- ・霜に弱いので、収穫は霜が降りる前にします。
- ・連作を嫌うので、同じ畑で最低3年間は栽培しないようにします。

#### 畑の準備

植え付け2週間前に堆肥2<sup>kg</sup>/m<sup>2</sup>、1週間前に化成肥料(N:P:K=8:8:8) 100<sup>g</sup>/m<sup>2</sup>を施用し、よく耕します。種イモは、ふくらとふくらんで病気やキズの無い50<sup>g</sup>前後の丸い種イモを選びます。既に芽が出始めているもの(芽出しイモ)を選んで植えると育ちやすくなります。芽が出ていない種イモは、土を入れた育苗箱などに種イモを埋め、ビニールをかけ暖かいところに置いて芽出しをします。1カ月ほどで発芽し、芽が2<sup>cm</sup>ほどまで成長したらビニールを外します。芽が5<sup>cm</sup>ほどになれば種イモを掘り起こして、定植します。

#### 植え付け

畝幅60～70<sup>cm</sup>、高さ10<sup>cm</sup>程度の畝に、株間50～60<sup>cm</sup>間隔で植え付けます。5～6<sup>cm</sup>土がかかる深さに種イモを植え、植え付け後たっぷりと水を与えます。

#### 追肥・土寄せ

5月下旬～6月上旬に1回目の追肥（1株あたり化成肥料30～50<sup>g</sup>）と土寄せをします。肥料と土を混ぜて株元にしっかりと土寄せをするのがポイントです。2回目の追肥と土寄せは7月上旬に、3回目の追肥と土寄せは8月上旬頃に行います。3回目の土寄せが終わったら、マルチや敷き藁などをして土の乾燥を防ぎます。

#### 芽かき

子イモから出た芽は土寄せの際に倒して埋め込みます。

#### 水やり

サトイモは乾燥にとても弱い野菜です。乾燥してしまうと収穫量も減ってしまうので、夏の乾燥時期には水やりを欠かさないようにしましょう。

#### 病虫害

サトイモは比較的病虫害の被害を受けにくい作物ですが、アブラムシやヨトウムシの被害を受けることがあります。

#### 収 穫

10月上旬から11月下旬の霜が降りる前に収穫をすませます。あらかじめ地上に出ている葉柄を根元から切り取って、株の周りをスコップで掘り起こします。イモを傷めないように、手で掘り上げて収穫します。

#### 貯 蔵

次年の種イモに利用するために貯蔵する場合は、子イモや孫イモが外れないように株ごと掘り上げ、地下水の少ない畑を選んで、貯蔵穴を掘り、イモを株ごと下向きになるように詰め込みます。その上に籾殻や稲わらなどで覆い、さらに上から10<sup>cm</sup>くらい覆土します。降雨時に水が多量に流れ込んだりしないように排水に注意します。

家庭菜園に関する相談は、営農経済センターのTAC（タック）までご連絡ください。